

主会場選定にかかる市町照会 結果概要

1. 趣旨

- 候補地の所在する市町に対し、主会場整備に際し想定される課題等に対する意向の確認を行うため、文書にて照会、回答を得た。

(H25.12.24 付け依頼、H26.1.14 回答期限)

- 回答内容について、ヒアリングを実施（平成26年1月15日）

2. 回答概要（ヒアリングでの補足含む）

いずれの市町からも、主会場に選定された場合の施設活用についての期待の表明があり、市有施設等の使用については協力できる旨の回答があった。

なお、大津市については候補地として提案した「皇子山総合運動公園」については候補から取下げる旨の申出があった。

個別案件については以下のとおり。

(1) 彦根総合運動場

【彦根市】

- ・ 用途地域の不適合（現：第1種中高層住専地域）については、「近隣商業地域」への変更を行う。
- ・ 風致地区・城下町景観形成地域の規制（高さ規制）については、施設の位置、規模、意匠等周囲との調和が図れるよう考慮したうえで、彦根市景観審議会にて承認ができるよう進める。
- ・ 許容建築面積率等の超過回避や、駐車場の縮小の課題については、野球場を存置する前提で、都市計画公園である「金亀公園」の区域を拡大、一体の公園とすることで回避を図るとともに、周辺の民有地も含めた利用可能な土地の地権者に協力を求め、新たな駐車スペースの確保を前提とした取組にも全面的に協力する用意がある。
- ・ 運動場周辺の道路改良等についても、市での実施を検討する。
- ・ 陸上競技運営に関し、市陸上競技協会が開催を強く希望していることに併せ、市職員をはじめとする人的支援は責任をもって対応する旨回答。
- ・ 会場候補地は現在彦根城の世界遺産登録におけるバッファゾーン（緩衝地帯）に位置付けられているが、今後登録推進の過程でバッファゾーンの範囲の見直しについても検討。

(2) 希望が丘文化公園

【野洲市・湖南市・竜王町】

- ・ 陸上競技会の運営については、2市1町間での役割分担等の調整が必要となるが、それぞれが応分の負担をする用意がある。
- ・ 国体開会期間中のアクセス道路等の混雑への懸念があることから、会場へのアクセス改善が望まれる。(具体的には、国道8号線バイパスや、希望が丘文化公園内通路の改良も含めた東ゲートから西ゲートまでのアクセス路整備、菩提寺PAを活用したスマートインター整備等)

(3) びわこ文化公園都市

【大津市・草津市】

- ・ 用途地域の不適合(大津市)については、整備計画に基づき商業地域等への変更が必要となれば、県と協議・調整のうえ円滑な施設整備が図られるよう取り組む。
- ・ 陸上競技会の運営については「びわこ国体」を開催した実績や、「びわ湖毎日マラソン」等を主催し、その運営に市陸上競技協会も携わっている長年の実績からも問題はない。
- ・ 候補地近隣で計画のある都市計画道路については、今後主会場の整備計画に基づき道路整備が必要となれば、周辺道路整備も含め県と協議の上、整備を進めたい。

主会場選定にかかる照会事項（彦根総合運動場）

市町名：〔彦根市〕

	照会事項概要	回答
法令上の課題について	主会場の整備が、貴市で定める開発等の規制に抵触しないか。	主会場の整備については、従前敷地内において盛土等の再造成がない限り通常の管理行為、軽易な行為として開発許可は不要です。なお、都市公園施設として整備される場合は、公益施設として都市計画法上適用除外となり開発許可不要となります。 また、建築物の高さが一定基準以上となる場合は、中高層建築物として彦根市宅地開発指導要綱に基づき、緑化や消防活動空間などについて本市と協議いただくと共に地元説明をお願いすることになります。
	用途地域の不適合についてどのように考えるか。 （現：第1種中高層住専地域）	現在の彦根総合運動場の施設は、用途地域に適合していないものとなっております。これまでは建築審査会の同意により建築されておりましたが、今後施設を再整備される場合には、本市としても用途地域に適合させることが適切と判断することから、近隣商業地域への用途地域変更を行いたいと考えております。
	風致地区・城下町景観形成地域の規制（高さ規制）に抵触することについてどのように考えるか。	風致地区にかかる高さ規制は、15mとなっております。また景観上の高さ規制は、現行12m（住居系）となっておりますが、上記用途地域変更により15m（商業系）になる予定です。 その上で、高さ基準を超える場合は、施設の位置・規模・意匠・形態・彦根城との眺望景観等に対して、周囲との調和が図れるよう考慮していただいたうえで、市風致条例第5条第1項第1号ウ（ア）のただし書きの適用について、彦根市景観審議会と協議しながら風致地区の手続きの承認が出来るよう進めて参りたいと考えております。
	公園敷地に関して、許容建築面積率（建ぺい率）等の超過を回避するために、貴市として具体的に協力いただける事項があるか。	近隣には、都市計画公園としての総合公園5・5・2金亀公園（37.9ha）があります。この金亀公園の区域を拡大し一体の公園とすることが、これらの超過を回避する手段の一つであるとも考えられます。今後は、滋賀県都市計画課と調整しながら公園整備事業として採択を受けれるように新たな用地の確保も視野に入れ、区域設定について協力していきたいと考えております。
整備上の課題について	主会場の整備が、貴市の政策や、周辺環境に与える影響についてどのように考えるか。	彦根シティーマラソン等、本市開催のスポーツ大会やイベントは、彦根総合運動場をお借りしています。国宝彦根城等の文化遺産とスポーツの調和を目指した様々な取り組みにより、多くの来彦者をもたらし、活気のある街づくりの実現がなされています。このことから、さらなる街づくりや活性化のため、総合運動場の施設・設備機能の向上は、彦根市民はもとより、利用される方々の強い要望と考えています。
	整備に伴い廃止となり、敷地内での機能回復ができない施設が生じる可能性があるが、どのように考えるか。	機能回復ができない種目の施設・設備は、本市であれば荒神山公園運動施設や他の運動施設・設備に代替機能を持たせることができます。長期的には、彦根市内に県営施設として新たに建設できるよう協力していきます。
	施設配置計画によっては、現施設の駐車場が縮小される可能性があるが、どのような影響が考えられるか。	本市では、イベント開催時には、近隣の市の保有する駐車場他、民間の駐車場を借用しシャトルバス輸送することで、駐車場不足をカバーしています。このようなノウハウは、国体開催時にも活用し協力できる体制にあります。また、公園整備拡大による駐車スペース縮小の場合、周辺の民有地である農地を含めた利用可能な土地の地権者に協力を求め、新たな駐車スペースの確保を前提とした取り組みにも全面的に協力する用意があります。

主会場選定にかかる照会事項（彦根総合運動場）

市町名：[彦根市]

	照会事項概要	回答
式典運営上の課題について	会場周辺の市有施設（駐車場等）を、国体会期中使用することについて、協力をいただけるか。	彦根市民体育センターならびに269台の駐車スペース、金亀公園の176台分の駐車スペースや多目的グラウンドや野球場は、主会場になれば全面的に協力し提供させていただきます。加えて、城北小学校や滋賀大学、近江高等学校等は、駐車場のみならず「おもてなし空間」等々の転用可能な施設・設備であり、既に全面的に協力できることの詳細を得ています。
市としての競技運営について	国体開催時には、地元市が陸上競技会の運営主体となることに対し、どのように考えるか。（他の競技を開催する場合の影響も含め、どのように考えるか。）	本市陸上競技協会は、競技力向上やポスト国体の競技会場の有効活用まで見据え、本市開催を強く希望しています。また、役員動員についても市職員はもちろん、市民ボランティアなど人的支援は責任を持って対応できます。他の競技種目との関係についても、本市開設予定の国体準備室や体育協会が中心となり、種目間の運営の調整等々、開催種目が決定次第、早期に取り組む予定です。
その他	主会場の整備を、貴市のまちづくりや地域振興にどのように活かすことができると考えているか。	湖東・湖北市町による「彦根主会場招致要望書」では、経済・産業・観光等々、県全体の均衡と発展を前提に、その起点となるのが彦根総合運動場としています。即ち、湖東・湖北は、開発可能な運動施設・設備用地、商業・工業用地や豊かな人材を有しており、国体主会場の開催をきっかけとして全県域への様々な波及効果が期待できます。また、滋賀県の地理的中心地であるばかりか、近畿・東海・北陸の人口重心地であることによる重要な防災拠点としての活用も考えられます。さらに、彦根港は、基幹的広域湖岸輸送拠点として琵琶湖西岸断層帯地震発生時には、湖上輸送による湖西方面の避難対応も可能です。なによりも、新幹線や高速道路等の交通アクセスの良さや、魅力的な歴史遺産や観光資源は、多くの来県者の滞在が見込まれます。東京オリンピックキャンプ地としても、新幹線を利用できることは、候補地として大きな強みと考えられます。このように、主会場整備が一地域の発展だけでなく、全県のメリットとなるよう、本市の政策を発展的に進めることが必要と考えています。
	世界遺産登録に向けた貴市の取り組みへの影響をどのように考えるか。	会場候補地は、彦根城の世界遺産登録におけるバッファゾーン（緩衝地帯）に位置づけられています。現在のバッファゾーンは確定したものではないことから、今後、彦根城の世界遺産登録を推進して行く中でバッファゾーンの範囲の見直しについても検討してまいります。
	現在、彦根総合運動場では夜間照明施設使用について地元自治会との事前協議が必要となっているが、主会場が整備された場合の影響についてどのように考えるか。	地元自治会との「覚え書」は、野球場夜間照明の点灯制限について触れています。今回の主会場は、新たな施設であり抵触することはないと思われまます。周辺自治会には丁寧な説明のもと、建設に協力いただけるよう責任を持って対応します。

主会場選定にかかる照会事項（希望が丘文化公園）回答

市町名：〔 野 洲 市 〕

	照会事項概要	回答
法令上の課題について	主会場の整備が、貴市で定める開発等の規制に抵触しないか。	<p>景観は一般地区該当のため、13m以上の建築物の場合、届出が必要。 主会場整備（競技場、サブグラウンド）については、都計法第29-1-3に定める公益施設であれば開発許可および市指導要綱協議は不要。 【設置者：公園管理者 都市公園法第2-2施行令第5条 公園施設である建築物】 ただし、上記以外の施設整備については、事前協議が必要。 ※建築確認申請時に都計法29-1の規定に適合していることを証する証明（60条証明）が必要な場合あり。 1ha以下の森林開発は、「伐採及び伐採後の造林の届出書」の提出要（市に提出） 国体開催時に市道上に案内看板等を設置される場合は道路法32条の届出が必要。</p>
整備上の課題について	主会場の整備が、貴市の政策や、周辺環境に与える影響についてどのように考えるか。	<p>開会期間中はアクセス道路、およびこれに接続する国道8号に交通が集中することが想定され、更なる交通渋滞が見込まれる。国道8号は現状で渋滞が著しいため、国道8号バイパスの野洲栗東間の早期着工と野洲竜王方面への延伸が望まれる。また、国道8号への影響を軽減し、主会場までのアクセスを向上させるための施設整備が望まれる。（希望が丘東ゲート付近から主会場までのアクセス路の整備、主会場至近の菩提寺PAを活用したスマートインターチェンジの整備など）</p>
式典運営上の課題について	会場周辺の市有施設（駐車場等）を、国体会期中使用することについて協力をいただけるか。	<p>近傍施設として歴史民俗博物館、野洲図書館、野洲市健康福祉センター等が想定されるが、当該施設の業務に支障のない範囲内での協力が可能である。 現在、野洲市では平成26年秋を目途にJR野洲駅南口ロータリーの改修を進めている。また、近江八幡市・野洲市・竜王町で構成する篠原駅周辺都市基盤整備推進協議会では平成27年3月を目途に篠原駅駅舎の改修を行っており、これにあわせて駅南口に新たなロータリーの設置を進めている。これらの整備により、主会場までのバス等公共交通の利便性が向上する。</p>
市としての競技運営について	国体開催時には、地元市が陸上競技会の運営主体となることに対し、どのように考えるか。（他の競技を開催する場合の影響も含め、どのように考えるか。）	<p>2市1町での運営となった場合、陸上競技会の運営については県との調整に加えて2市1町での調整が必要となり、事案の決定に時間を要すると思われる。 陸上競技会の運営主体となった場合、本市の規模から他の競技を受入れるには人員の確保が課題となる。</p>
その他	主会場の整備を、貴市のまちづくりや地域振興にどのように活かすことができると考えているか。	<p>主会場の建設により市内に第1種陸上競技場が整備されるため、スポーツ機運の高揚、アスリート育成への効果が期待される。 また、あわせて防災拠点機能の強化が期待される。</p>
	国体開催時における、関係2市1町の役割分担のあり方について、現時点でどのように考えているか。	<p>2市1町での運営となった場合は役割だけでなく、財政負担、人員などの負担割合を早期に定めることが必要である。</p>

主会場選定にかかる照会事項（希望が丘文化公園）

市町名：〔 湖 南 市 〕

	照会事項概要	回答
法令上の課題について	主会場の整備が、貴市で定める開発等の規制に抵触しないか。	現時点においては、開発の規制には抵触しないと思われるが、今後の計画においては担当課との協議が必要である。
整備上の課題について	主会場の整備が、貴市の政策や、周辺環境に与える影響についてどのように考えるか。	湖南市のサイドタウン自治会を横断して進入する希望が丘文化公園南ゲートについては道路幅が狭く、名神高速道路下のトンネルは車1台分の車幅しかなく、周辺環境や道路整備にも配慮が必要である。 平成26年9月頃に湖南市景観計画を策定予定であり、景観に十分配慮した整備計画とする必要がある。
式典運営上の課題について	会場周辺の市有施設（駐車場等）を、国体会期中使用することについて協力をいただけるか。	具体的に使用する範囲が決まっていないが、通常業務に支障のない範囲であれば施設管理者と協議のうえで使用は可能である。
市としての競技運営について	国体開催時には、地元市が陸上競技会の運営主体となることに対し、どのように考えるか。（他の競技を開催する場合の影響も含め、どのように考えるか。）	地元市としての応分の対応が必要と考える。特に、人的、財政的負担が生じる場合は、県及び関係市町との十分な協議が必要である。また、他に担当する競技種目の運営負担を勘案していただく必要があると考える。
その他	主会場の整備を、貴町のまちづくりや地域振興にどのように活かすことができると考えているか。	主会場となることにより、スポーツ振興の視点はもとより、地域の活性化からの視点も重要な要素であることから、市として今後の重点項目として捉えていく必要がある。また、防災拠点機能の強化が期待される。
	国体開催時における、関係2市1町の役割分担のあり方について、現時点でどのように考えているか。	それぞれ応分の役割を担う必要があると考えており、2市1町の調整会議において、検討を諮りながら進めていきたいと考えている。

主会場選定にかかる照会事項（希望が丘文化公園）

市町名：〔 竜 王 町 〕

	照会事項概要	回答
整備上の課題について	主会場の整備が、貴町の政策や、周辺環境に与える影響についてどのように考えるか。	竜王IC周辺から国道8号方面への交通混雑を懸念することから、希望が丘文化公園の東口付近からの路線整備等を行うことで回避できるのではないかと考えている。具体的には、文化公園内に周辺環境に配慮した新設道路（東山裾、等）を設け、アクセスすることにより将来的にも広域連携が高まると考えます。
式典運営上の課題について	会場周辺の町有施設（駐車場等）を、国体会期中使用することについて協力をいただけるか。	町有施設の使用については、出来る限り協力します。
町としての競技運営について	国体開催時には、地元市町が陸上競技会の運営主体となることに対し、どのように考えるか。（他の競技を開催する場合の影響も含め、どのように考えるか。）	小規模自治体であるが、2市1町が連携し運営が行える体制づくりを考えて行きたい。
その他	主会場の整備を、貴町のまちづくりや地域振興にどのように活かすことができると考えているか。	希望が丘文化公園周辺エリアについては、関係2市1町において、当区域を県内の防災拠点にとどまらず府県をまたぐ広域防災拠点構想に向けた研究を行っており、当区域における主会場の整備は、周辺の道路等インフラの整備により、その構想の実現が期待できるものと考えている。
	国体開催時における、関係2市1町の役割分担のあり方について、現時点でどのように考えているか。	生涯スポーツの推進は言うまでもなく、幅広い年代層への日常の体力向上と健康づくりへのソフト事業の発展につなげ、人づくりがまちづくりになるものとする。また、希望ヶ丘スポーツ施設の有効な利用促進を図ることに期待が持てる。（広域利用） 2市1町が連携し協力体制を構築していきたいと考えます。

主会場選定にかかる照会事項（びわこ文化公園都市）

市町名：〔 大 津 市 〕

	照会事項概要	回答
法令上の 課題について	主会場の整備が、貴市で定める開発等の規制に抵触しないか。	主会場の整備につきましては、施設整備区域が都市計画公園決定がされますよう滋賀県と調整を進めてまいります。また、開発等の規制につきましても、その手続きが円滑に進むよう、滋賀県担当部局と調整してまいります。
	用途地域の不適合についてどのように考えるか。 （現：第1種低層住専地域・第1種高度地区）	現在の用途地域については、第一種住居専用地域となっておりますが、今後、国体事業の概要が定まり整備計画に基づき、用途地域（商業地域等）の変更が必要となれば、滋賀県と協議の上、都市計画審議会など関係機関と十分な調整を行い、円滑な施設整備が図られるよう取組んでまいります。
整備上の 課題について	主会場の整備が、貴市の政策や、周辺環境に与える影響についてどのように考えるか。	<p>新たなスポーツ施設が市内東部に新設されることは、市民が待ち望んでいたことであります。大津市総合計画の基本方針「次代を支える“ひとのつながり”を創る」、基本施策「次代を担う“まちのにぎわい”を創る」、施策の「生涯スポーツの盛んなまちづくり」を掲げていることから、新たな施設が市内東部に新設されることは、「スポーツを通じ郷土を愛し、支える人材育成」や「次代を担う子どもや若者がスポーツの意義や楽しみに触れ、夢を育てる」、「スポーツに親しみ生涯にわたり健康な生活を送る」などの機会の場が増えることにより、住む人びとの「暮らしの質」が高められ、「絆」を深められるものと考えています。</p> <p>また、将来都市像の基本フレームにおける都市構造図において、びわこ文化公園ゾーンを位置づけ、同じく、第4次大津市国土利用計画においても、土地利用に関する基本構想の都市構造図において、びわこ文化公園ゾーンを位置づけております。さらには、大津市都市計画マスタープランにおいて、当該地域のまちづくり目標として、びわこ文化公園ゾーンの機能充実を掲げております。</p> <p>周辺環境に与える影響については、この地域周辺には、名神高速道路、新名神高速道路、京滋バイパスなど道路交通網の整備が進み、広域交通アクセスに非常に優れており、また、県立美術館、県立図書館、県立アリーナなどの県立施設を有し、滋賀医科大学や立命館大学、龍谷大学が近接し、また、数多くの小中高等学校が立地し、さらには宿泊・商業施設や観光資源も多くあり、県内でも最も人口集積が高い地域にあります。</p> <p>このことから、①スポーツ振興及び文化教養の一大拠点として更なる発展が見込まれ、②スポーツツーリズムによる地域経済の活性化が図れ、③全国からお越しいただく選手や関係者を「おもてなし」できるものであります。</p> <p>また、学校の運動施設等を大会・練習会場として有効活用し、学生の協力による大会運営が見込めるなど、青少年の健全育成にも大きく寄与するものであります。</p> <p>さらには、この地での主会場建設は、ユニバーサルデザインの採用はもとより、豊かな自然環境と調和した人にもやさしい魅力ある施設として滋賀県の魅力を最大限に発揮することができ、大会終了後においても広域防災拠点など多目的な利活用ができるものと考えています。</p>

	照会事項概要	回答
整備上の課題について	主会場整備に際し、当該地域で大規模な開発行為を行うことについて、貴市としてどのように考えるか。(地元住民への影響も含め、どのように考えるか。)	県にあっては、びわこ文化公園都市内で、これまでに近代美術館、図書館、アイスアリーナなど自然環境を活用した調和ある施設づくりの十分な実績を持っておられるため、市民の憩いの場として多くの利用者がいます。こうしたことから施設整備にかかる環境面への配慮や地元説明など県市が連携して取組めるものと考えています。
式典運営上の課題について	会場周辺の市有施設(駐車場等)を、国体会期中使用することについて協力をいただけるか。	国体開催会期中の市有施設の使用については、県と協議を重ねながら積極的に使用できるように協力してまいります。
市としての競技運営について	国体開催時には、地元市が陸上競技会の運営主体となることに対し、どのように考えるか。(他の競技を開催する場合の影響も含め、どのように考えるか。)	本市は皇子山総合運動公園を主会場として昭和56年にびわこ国体を開催した実績やスポーツの振興を推進するにあたり、大津市体育協会や各競技団体、各種関係団体との連携により実施している実績があることから陸上競技会の運営主体となることについては問題ないものと考えています。また、滋賀県陸上競技協会や大津市陸上競技協会は、大津市が主催等となって毎年開催しております「びわ湖毎日マラソン」や「市民駅伝」等の開催の運営に携わっておられる長年の実績があり、国体の陸上競技会の運営協力が得られるものと考えています。国体の開催に向けて、大会運営に関わる審判等の競技役員、会場運営に携わるスタッフの養成やボランティアの育成について、県と協議しながら、先催県の例も参考に積極的に各競技団体等と連携しながら養成を行ってまいりたいと考えています。なお、他の競技を開催についても円滑な競技運営のため、同様に関係団体、市民ボランティアとも協力体制づくりに努めてまいります。
その他	当該地への主会場の整備を、貴市のまちづくりや地域振興にどのように活かすことができると考えているか。	びわこ文化公園都市に主会場として新たにスポーツ施設が整備されることは、名神高速道路や新名神高速道路等広域交通のアクセスや大学・企業連携による国体準備やスポーツ振興などのメリットがあることから、市民はもとより県民にとって「夢育て」、「スポーツの推進・健康育て」、「地域育て」などができる地域になるものと期待しております。また、スポーツ施設の拠点だけでなく防災など多目的に使用できる施設となるため、立地する地域の振興や活性化にも大きく寄与するものと考えています。
	当該地域における道路整備計画(都市計画道路3.4.73号南大萱上田上線)に基づく整備について現時点でどのように考えるか。	都市計画道路3.4.73号南大萱上田上線の整備については、本市が平成25年3月に策定した「大津市道路網整備計画」で10年～20年以内に着手(長期)する路線に位置づけておりますが、今後、国体事業の概要が定まり、整備計画に基づき道路整備が必要となれば、周辺道路整備も含め県と協議を行ない、当該路線の整備を進めたいと考えています。

主会場選定にかかる照会事項（びわこ文化公園都市）

市町名：〔 草 津 市 〕

	照会事項概要	回答
<p>整備上の課題について</p>	<p>主会場の整備が、貴市の政策や、周辺環境に与える影響についてどのように考えるか。</p>	<p>草津市総合計画では、びわこ文化公園都市付近を「文化・交流ゾーン」「学術・福祉拠点」に位置付け、草津JCTや草津田上ICによる地の利を最大限に生かした場所として、産学官あるいは研究機関との連携、新たな産業の創出や福祉・医療、文化等の交流促進に取り組んでおります。</p> <p>びわこ文化公園都市が主会場として整備されることは、スポーツの分野とこれらの各分野の交流促進が図られ、本市の政策にも好影響が期待できると考えます。</p> <p>なお、整備にあたっての交通アクセス対策や大規模開発に伴う課題への対応については、開発にあたっての協議や調整をいただきますようお願いします。</p>
<p>式典運営上の課題について</p>	<p>会場周辺の市有施設（駐車場等）を、国体会期中使用することについて協力をいただけるか。</p>	<p>びわこ文化公園都市周辺には、大規模な駐車場を併設している市有施設はありませんが、南草津駅や草津駅周辺の市営駐車場などについては利用可能でありますので、可能な限りの協力をさせていただきます。</p>
<p>その他</p>	<p>主会場の整備を、貴市のまちづくりや地域振興にどのように活かすことができると考えているか。</p>	<p>主会場整備計画の企画・立案段階から近隣学校（立命館大学等）にも参画いただくことで、国体開催中の運営への主体的な参加、国体後の施設利用などが期待できると考えます。</p> <p>また、大規模大会等の実施によるシティセールス活動やまちのにぎわいの創出、地域経済の活性化とともに、日頃の施設利用による県民のスポーツ・健康・福祉の推進など、今後の地域振興に活かすことができると考えます。</p>